



「ありて」は、自分の力で問題を解決していくイギリスの童話「アリーナの冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が作る」とアリーナは言っています。

センターだより



男女共同参画社会の実現に向けて

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会会長

むろたに ひろこ
室谷 弘子

この数年で、「男女平等・共同参画」という言葉を耳にする機会が多くなり、昨年4月に新たに任命された推進員の中でも、この言葉を聞いたことがないという人はほとんどありませんでした。しかし、その中身はというと???でした。

そこで、まず、知ることからはじめようと、最初の定例会で、3本のロールプレイングを行いました。1本目の「ワーク・ライフ・バランスを知っていますか?」は、結婚記念日に定時で帰宅しようとする若い社員に、仕事一筋の課長が待ったをかけるというものです。これに近い状況、もしくは言い出すことすらできない職場環境は今も多く、だからこそ、何が問題なのか、解決方法はないのかを考えてみるきっかけになります。2本目の「すぐできる家庭での男女共同参画」は、子どもの保護者会に誰が行くかで共働きの夫婦が言い争いになります。30代から40代の推進員の中には実際にそうした経験をしたという人もいて、身近なところにも問題があること

を気づかせてくれます。3本目の「DVを知っていますか?」は、ドメスティック・バイオレンスについてです。DVについては、昨年11月にセンター相談員の方を講師としてお招きし、学習会を行いました。高岡市でも相談件数は年々増加しています。DV被害者の立場に立つことの大切さを学びました。その他、男女平等推進センターとEネット(=センター登録活動団体ネットワーク)が協働で開催したセンター企画講座を受講したり、サンフォルテ出前講座で具体的なデータをもとに男女共同参画を読み解いたり、企業の人事担当者にご講演いただいたりと、多岐にわたって学び、多くの気づきがありました。

23年度は、これまで学んできたことを地域の皆様に伝え、共に考える機会として、各校区でミニ地区懇談会を開催いたします。男女共同参画社会の実現へ向けてのきっかけが見つかるかもしれません。市民の皆さまには、回覧板やチラシ等でご案内申しあげますので、ぜひご参加ください。

おつけた! 出会い ふれあい 深め合い



講座報告

🌸 **センター企画講座** 🌸 **ねっこ塾** 2月2日(水)
塾長: 野村 乙美 (男女平等推進センター所長)

ねっこ塾は、市民の皆様が、これから家庭や社会において、今後ますますいきいきと活躍していただくためのヒントを得ていただくために、企画したものです。今回は、第3回について報告します。

発見! 自分ブランド ~まわりの印象から築く「わたし」~

参加者同士が自己紹介をし、お互いの魅力的な印象3点を書いて交換し、他人の目を通して、これまでと違った自分を知り、またより深く考えることによって、自分ブランドを構築することができることを学びました。受講生の皆さんは、初めは自己紹介をすることに慣れない様子でしたが、お互いにいろいろなことを話し合ううちに、緊張もほぐれ、自己紹介に与えられた1分間という時間を忘れるくらい、会話がはずんでいました。



受講生の感想

- 子どもや夫との気持ちの行き違いから、自分がこのままでいいのかと、自分に問うことが多かったので家族や周りのみんなが楽しく生きられるように、できることから行動に移していきたいと思いました。
- 自分の知らないブランドがあるなんて思いもしなかった。実物の自分と他人が見た目は全然違うので、びっくりした。もっと話ができたらなあと思った。
- 人からどう見えるかは、日頃自分が気をつけているところで、自信となりました。良かったです。



🌸 市民企画講座 🌸

女性が陥る多重債務を考える 企画: NPO法人ハッピーウーマンプロジェクト

2月27日(日) 司法書士の大島 徹也さんを講師として、多重債務についてお話していただきました。平成18年の法改正までは、いわゆる利息のグレーゾーンが存在していたことの説明があり、多重債務に陥った時は、まず信頼できる専門家に相談し、「生活再建」を前提とした債務整理(任意整理、特定調停、民事再生、破産のいずれか)をすることが大切だということを学びました。



いずれも申込み・問合せは、男女平等推進センターまで。

(0766)20-1810 Fax (0766)20-1815

E-mail gec@office.city.takaoka.toyama.jp ホームページ <http://www2.city-takaoka.jp/gec/>

お知らせ・ご案内

高岡市男女平等推進プラン情報誌

ありて 10号ができました

「ありて」は男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。



NEW!

特集

夫婦としての生き方を考える~幸せな結婚生活のカタチ~
男女がいいきと働ける事業所紹介
編集員おすすめ 本の紹介
セピア色の写真から / 神子高たかさん
センター活動登録団体紹介
センターから



募集します!

市民企画講座

市民の皆さんに男女平等・共同参画について関心と理解を深めるための講座を企画・運営までを自ら行っていただけます。

応募できる人 市内在住か勤務する人、市内で活動する団体・グループ

開催回数 1回約2時間、1~4回程度。ただし、特定の宗教や政治活動に関するもの、営利を目的とするものは除く

支援内容 企画・講師にかかる経費の一部 講師依頼など

実施日時 実施は選考を経て、平成24年2月までの間

会場 男女平等推進センター会議室

申込み期限 7月31日(日)

学習支援事業

市民団体・グループが、男女平等・共同参画について、自らの理解をより深めるために実施する研修などに支援します。

応募できる人 市内で活動する団体・グループ (県や市などから運営補助を受けている団体を除く)

支援回数 1回

支援内容 講師にかかる経費の一部、講師依頼など

実施日時 実施は選考を経て、平成24年2月までの間

申込み期限 7月31日(日)

センター活動登録団体

1年を通して、男女平等・共同参画の推進をめざして活動する団体を募集しています。審査のうえ、登録すると、センター交流スペースA・B、ロッカーが無料で利用できます。また、希望される団体は、センターホームページで活動内容を紹介することもでき、活動が広がります。

登録基準は以下の条件をいずれも満たす団体・グループ

- 男女平等・共同参画の推進に関する活動をしていること
- 目的を有し、計画に基づき、営利を目的にしない事業をしていること
- 代表者が、市内に住むか通勤・通学していること
- メンバーが5人以上いること

このたびの、東北地方太平洋沖地震の被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申しあげるとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申しあげます。一日も早い復興をお祈り申しあげます。



和・話・輪



富山県男女共同参画推進員高岡連絡会 活動報告

富山県男女共同参画推進員 高岡ブロック地域別研修会開催

2月12日(土) 高岡市ふれあい福祉センターにおいて富山県男女共同参画推進員 高岡ブロック地域別研修会が開催されました。射水・氷見・高岡市の連絡会による活動紹介や、「生活のなかから考える男女共同参画」と題した富山国際大学子ども育成学部准教授 彼谷 環さんの講演など、男女共同参画について、改めて気づくこと、学ぶことが多くありました。

富山県男女共同参画推進員ってナニ？

富山県男女共同参画推進員は、「富山県男女共同参画推進条例」に基づき、地域における男女共同参画推進のための自主的な活動を展開しています。高岡市内では、小学校区から推薦された52人が県知事より推進員を依頼されています。

役割

- ・県が策定する男女共同参画計画の普及・啓発
- ・男女がともに協力して実施する地域活動の推進
- ・男女共同参画に関する施策推進への協力
- ・男女平等にかかわる相談及び相談機関の紹介

活動内容

- ・総会開催
- ・定例会、ミニ学習会の開催
- ・他団体事業への参加
- ・ミニ地区懇談会の開催
- ・高岡DV被害者支援基金パサパへの支援
- ・県全体研修会参加
- ・広報誌の発行、配布
- ・地域別研修会参加



心のおしゃれ 幸房

皆さま、ありがとうございました。高岡市男女平等推進センター所長退任にあたり、ひとことお礼のご挨拶申しあげます。就任し7年間、男女平等・共同参画社会の実現に向けて、一歩ずつやり甲斐を見い出しながら、ひたすら職員の方々と共に苦労を分かち合い、励まし合いながら歩んでまいりました。幸いに、センターオープン以来、市民・各種団体の皆さまや、国・県の関係各位の皆さまなどから格別なご支援とご協力をいただき、その職責を果たし得ましたことに、感激もひとしお、心から厚くお礼申しあげる次第です。

顧みまして、「男女平等 EXPO 高岡」は、これまで毎年、本市の各界各層の団体の協働により住民参加の視点で継続されており、何より心強く思っています。「出る杭を伸ばす」をモットーにした「ねっこ塾」や、(財)21世紀職業財団の「再就職支援セミナー」等では、主に女性の社会への参加意欲を促すことを目的にお話しさせていただきました。毎回、夢を実現した受講生の皆さまと話し、共に喜んだことを思い出し、一定の役割を果たしてこれたと、感慨無量なものを覚えるのです。また、平成20年度には、「男女平等・共同参画都市宣言」を市の内外に発信するなど、歴史的な足跡を残すことができました。平成21年度、高岡市開町400年という節目の年には、より実践的な市民活動の大切さを、センター事業や各種機会を通じて、市民の皆さまにお伝えし、「自分たちが変わることでは、社会は変わらない。」という気運の醸成に努めたところです。このように、常に新たな男女平等・共同参画のステージへと進みましたことは、私にとって、終生忘れ得ぬ思い出です。

人も育ち、環境も整って、仕事に慣れ、感受性の泉が鈍化した時が出处進退を決定すべき時と、常日頃から私の置かれている立場を意識しておりました。主体的に力を発揮する、とても魅力的なスタッフに恵まれている今こそ、チェンジの好機と捉え、退任を決意した次第でございます。

センターオープン以来、年間利用者数1万人を目標に、スタッフ一同で努力してまいりました。7年間で75,725人(平成22年12月末現在) また7年間の講演活動では、県内だけで約16,000人もの出会いに恵まれ、私は幸せ者でした。多くの皆さまとの出会いに感謝し、今後は広く次世代のために私のできることを、スローでも良いからライフワークとして、社会への貢献活動に精進したいと思っております。

終わりに、新年度からも「高岡市男女平等推進プラン」の推進と後任の太田真由美 男女平等推進センター所長をはじめ、センターへ一層のご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

皆様方の益々の御健勝を心からお祈りし、御礼のご挨拶といたします。

高岡市男女平等推進センター所長 野村 乙美
